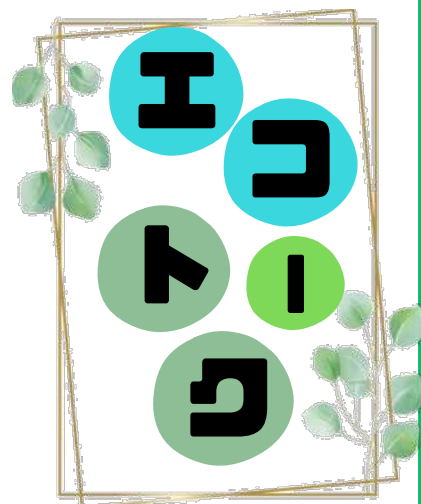


宇美町



(2023年広報5月号)



宇美町にお住いの皆さん如何お過ごしでしょうか？今号がお手元に届くころは衣替えが済んでいる頃でしょうか？これまでに「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」からの発表について書いてきました。が今号は「IPCC」のお話です。

「IPCC」は国連に設置されている多くの専門部署の一つです。地球レベルでの『温暖化』の影響を化学や技術等多面的に評価するため、1988年に設立されています。「IPCC」には190以上の国と地域が参加していて、環境問題に取り組んでいる科学者が発表する論文や観測データ等最新の知見をまとめた報告書を公表しています。2015年に開催された国連気候変動枠組み条約締結国会議(COP21)では「パリ協定」として今世紀末には平均気温を2℃未満に抑えよう(努力目標では1.5℃)と全世界に向けて提言されましたが、2021年には「IPCC」の見解として「人間活動により、大気中のCO2濃度は上昇している」と断言しています。

日本は、条件付きで石炭火力発電の廃止を表明していますが、他国からは「取り組みが不十分である！」と環境問題関連団体から毎年非難めいた指摘を受けています。

宇美町で育った人たちの中から「IPCC」で地球全体のためにリーダーシップを発揮して、活躍する人が出てくることを願ってやみません。近年「人生100年時代」と言われています。日本は少子化が進み、将来の経済活動ばかり懸念されていますが50年後・100年後に生活する人たちのために『今何をしなければならないのか？』をもっと真剣に考え、実行するときではないでしょうか!!

私たち一人一人は微力であっても無力ではありません!!今の私たちの思いと行いが子供や孫たちのお手本となるよう生活を見直してみませんか？大量生産・大量消費・大量廃棄の時代はバブルの終焉と同時に終わっていると思うのですが・・・。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆